

高等部

(1) 高等部の教育目標

- ① 健康で明るく素直で、体調管理ができる生徒
(職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。)
- ② 自分のことは自分で責任をもってできる生徒
(職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、および生活習慣の形成を図る。)
- ③ 自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力し、役割を果たそうとする生徒
(望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。)
- ④ 勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る生徒
(職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労の意欲を高める。)
- ⑤ 自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す生徒
(集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる。)

(2) 教育課程編成の方針

- ① 学校・高等部の教育目標を達成するために、生徒の実態に即して指導内容を精選し、具体的に組織だて、適切な指導形態を十分検討し、共通理解のもとに教育課程を編成する。
- ② 卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、個別の教育支援計画・個別移行支援計画及び個別の指導計画を作成し、生徒一人一人のニーズに応じた支援・指導を進めるとともに、キャリア教育を通して、勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択・決定する力を培えるよう編成する。

(3) 各教科等の指導の重点（基本方針等）

※育成すべき資質・能力の3つの柱に関連するものを以下のように表記する。
(知) …生きて働く「知識及び技能」、(思) …未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
(学) …学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

普通科

—教育課程Ⅰ【視覚障害教育・聴覚障害教育・肢体不自由教育・病弱教育】(準ずる教育・下学年)

① 各教科

ア 国語

- ・国語を正しく理解し、社会生活において適切に活用する能力を育てる。(知)
- ・社会生活に必要な思考力や想像力を養い、円滑な対人関係を形成するために必要な伝え合う力を高める。(思)
- ・生涯にわたる社会生活に必要な言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 地理歴史

- ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思)
- ・地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学)

ウ 公 民

- ・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。(思)
- ・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。(学)

エ 数 学

- ・数学的活動を通して，数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解や数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈・表現したりするための知識・技能を身につける。(知)
- ・事象を数学的に考察し表現する力や既習の内容を基にして問題を解決し，思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識したり，統合的・発展的に考えたりする力を養う。(思)
- ・数学的な見方や考え方のよさ，数学の用語や記号のよさ，数学的な処理のよさ，数学の実用性などを認識し，事象の考察や問題の解決に数学を積極的に活用して，数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。(学)

オ 理 科

- ・自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。(思)
- ・自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。(学)

カ 芸 術

- ・芸術の幅広い活動を通して，生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，芸術の諸能力を伸ばし，芸術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

<音 楽>

- ・音楽の幅広い活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。(知)
- ・音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽への興味・関心を深め，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。(学)

<美 術>

- ・美術の幅広い創造活動を通して，造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。(知)
- ・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)
- ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身につけるようにする。(知)

- ・運動や健康についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。(学)

ク 家 庭

- ・人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し，それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。(知)
- ・家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養い，生涯を見通して課題を解決する力を養う。(思)
- ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画するとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 外 国 語

- ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・日常的な話題について，外国語を聞いたり読んだりして，その内容を理解できるようにする。また，得られた情報から，自分自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に対する理解を深め，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

コ 情 報

- ・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し，情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。(学)

サ 職 業

- ・働く喜びを感じ，意欲的に取り組む姿勢を育て，社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。(知)
- ・卒業後の社会参加がスムーズにできるよう，勤労観・職業観を身につけ，主体的に進路を選択・決定する力を養う。(思)
- ・自らの障害特性が及ぼす影響を受容し，克服していく姿勢を養う。(学)

② 特別活動

- ・様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。(知)
- ・集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。(思)
- ・自主的，実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。(学)

③ 自立活動

- ・個々の生徒が，自立を目指し，障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また，それぞれが興味関心にあった活動を見つけ，余暇時間を有効に活用できるようにする。

④ 総合的な探究の時間

- ・探究の課程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。(知)
- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。(思)
- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。(学)

普通科 産業コース

一教育課程Ⅱ【知的障害教育】

① 各教科

ア 国 語

- ・国語を正しく理解し、適切に表現する能力を育てる。(知)
- ・職業生活，社会生活に必要な思考力や想像力を養い，伝え合う力を高める。(思)
- ・職業生活，社会生活に必要な言語感覚を磨き，言語文化に対する関心を深め，国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 社 会

- ・社会的事象について，様々な資料や具体的な活動を通して，社会生活との関連を踏まえて理解するとともに，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考える力，自分の生活と結び付けて考える力，社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(思)
- ・社会に主体的に関わろうとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会と我が国の国土や歴史・伝統に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚や，我が国の将来を担う国民としての自覚，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(学)

ウ 数 学

- ・職業生活・社会生活を営む上で必要な数量や図形などについての基礎的な概念や性質などを理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(知)
- ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもつ力，基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。(思)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを知り，数学的に表現・処理したことを振り返り，検討してよりよいものを求めて考える態度，数学を生活に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知)
- ・観察，実験などを行い，解決の方法を考える力とよりよい妥当な考えを選ぶ力を養う。(思)
- ・自然を愛する心情を養うとともに，学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・曲想と音楽の構成などの関わりについて理解するとともに，工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作，身体表現の技能を身に付けるようにする。(知)
- ・音楽表現を工夫することや，音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しみ，音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学)

カ 美 術

- ・造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(知)
- ・配色や技法の特徴を活かし効果的，計画的，適切に表現できるようにする。(思)
- ・作品の完成を目指し最後まで取り組むとともに，自他の表現を尊重し，味わうことができる。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(知)
- ・各種の運動や健康・安全について自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。(学)

ク 職 業

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に対応できる技能を身に付けるようにする。(知)
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(思)
- ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 家 庭

- ・家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知)
- ・防犯、契約、消費者保護の仕組みに関する内容など、基本的な対応の仕方についても学び、自立して行動できることを目指す。(思)
- ・家族や地域の人々の関りを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(学)

コ 外 国 語

- ・外国語の音声や語彙、文法などを身につけ、実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・外国語を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるようにする。また、得られた情報から、自分自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

サ 情 報

- ・生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な知識及び技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・産業現場で用いられる情報機器が果たしている役割や影響を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育てる。(学)

シ 生活総合(学校設定教科)

- ・卒業後の社会生活において、主体的に役割を果たすための知識及び技能を養う。(知)
- ・生活上の課題について相互に意見を交換したり、協働で取り組んだりする力を養う。(思)
- ・将来、よりよい生活を送るために学んだことを生かす態度、自主的に学ぶ態度を養う。(学)

② 道徳科(3年生は道徳)

- ・学校生活全般を通し、健全な社会生活を営む上で必要な道徳心と規範意識を高め、自己指導力を身につけ、善悪を判断し、責任をもって自主的・自立的に行動できるようにする。
- ・目標を持ち、達成に向けてねばり強く努力する態度を育む。
- ・自己の特長を知り、自己理解を深めるとともに、改め自己の向上を図ろうとする素直で誠実な態度を育む。

③ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。(知)
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。(思)

・人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。(学)

④ 自立活動

・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、それぞれが興味関心にあった活動を見つけ、余暇時間を有効に活用できるようにする。

⑤ 総合的な探究の時間

・各教科および領域・各教科等を合わせた指導で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ、実社会や実生活と自己との関わりから自分の課題を見だし、自己の在り方生き方を考えながらよりよい社会を実現しようとする態度を養う。(知)(思)(学)

(指導の形態として)

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア キャリアガイダンス

・働くことの意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを設計していくための基礎的な知識と態度を身につける。
・企業就労現場で求められる態度やマナーを理解し身につけるとともに、他者と協調して働くために必要な知識、技能、態度を身につける。
・自己理解を深め、企業就労や社会生活を送る上での障害による種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。
・企業就労をする上で求められる生活習慣と健康管理の知識と技能を身につけると同時に、体力の向上を図る。

普通科 普通コース

一教育課程Ⅱ【知的障害教育・知的代替】・教育課程Ⅲ【自立活動を主とした教育課程】

① 各教科

ア 国 語

・国語を正しく理解し、適切に表現する能力を育てる。(知)
・生徒一人一人の発達段階・生活経験を考慮しつつ、社会生活に必要な思考力や想像力を養い、伝え合う力を高める。(思)
・生活に必要な言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(学)

イ 社 会

・社会的事象について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知)
・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(思)
・社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会と我が国の国土や歴史・伝統に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚や、我が国の将来を担う国民としての自覚、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(学)

ウ 数 学

・数量や図形などについての基礎的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(知)
・日常の事象を数理的に捉え見通しをもつ力、基礎的な数量や図形の性質などに気づき、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養う。(思)
・数学的な活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学)

エ 理 科

- ・身の回りで起こる自然の事物・現象について基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を体験する。(知)
- ・物事を科学的に考え、話し合う力を養う。(思)
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(学)

オ 音 楽

- ・幅広い音楽活動を通して生涯にわたって音楽に親しむために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(知)
- ・音楽表現のよさや美しさを感じ取り、自ら表現する能力を高める。(思)
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、情緒の安定を図り、豊かな情操を育てる。(学)

カ 美 術

- ・様々な素材や道具の使い方を知り、楽しく表現する力を育てる。(知)
- ・配色や技法の特徴を知り、表現に活かすことができるようにする。(思)
- ・作品の完成を目指し最後まで粘り強く取り組むとともに、友だちの作品に関心をよせ味わうことができるようにする。(学)

キ 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活並びに社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(知)
- ・各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思)
- ・生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。(学)

ク 職 業

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、社会生活に必要な知識、技能、態度を養う。(知)
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(思)
- ・よりよい将来の社会生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(学)

ケ 家 庭

- ・明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な知識や技能を身につけ、実践的な態度を育てる。(知)
- ・防犯、契約、消費者保護の仕組みに関する内容など、基本的な対応の仕方を身に付ける。(思)
- ・家族や地域の人々の関りを通して、よりよい生活を目指し、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(学)

コ 外 国 語

- ・外国語の音声や表現を身につけ、実際のコミュニケーションの場面で活用できるようにする。(知)
- ・外国語を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるようにする。また、簡単な英語で自分自身自身の考えを表現できるようにする。(思)
- ・外国の文化に興味・関心を持ち、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学)

サ 情 報

- ・生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な知識及び技能を習得する。(知)
- ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。(思)
- ・産業現場で用いられる情報機器が果たしている役割や影響を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育てる。(学)

シ ライフキャリア（学校設定教科）

- ・卒業後の生活を豊かにするために、理科、外国語、情報等の基礎的な知識及び技能を身につける。（知）
- ・理科、外国語、情報等の学習を通して身につけた知識や技能を、用途に応じて活用できる力を養う。（思）
- ・理科、外国語、情報等に興味・関心を持ち、それらを活用して自らの課題を解決しようとする態度を養う。（学）

② 道徳科（3年生は道徳）

- ・学校生活全般を通し、健全な社会生活を営む上で必要な道徳心と規範意識を高め、自己指導力を身につけ、善悪を判断し、責任をもって自主的・自立的に行動できるようにする。
- ・目標を持ち、達成に向けてねばり強く努力する態度を育む。
- ・自己の特長を知り、自己理解を深めるとともに、改め自己の向上を図ろうとする素直で誠実な態度を育む。

③ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。（知）
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。（思）
- ・HR活動、学校行事、生徒会活動等の実践を通して、自発性と協調性を持ち、豊かな人間性を育てる。（学）

④ 自立活動

- ・個々の生徒が、自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また、それぞれが興味関心にあった活動を見つけ、余暇時間を有効に活用できるようにする。

⑤ 総合的な探究の時間

- ・各教科および領域・各教科等を合わせた指導で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ、実社会や実生活と自己との関わりから自分の課題を見だし、自己の在り方生き方を考えながらよりよい社会を実現しようとする態度を養う。（知）（思）（学）

（指導の形態として）

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- ・基本的な生活習慣の形成を図り、自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに、日常生活に必要な技能や態度を身につける。
- ・日常生活に必要な周辺処理能力を身につけ、基本的な生活習慣の定着を図る。

イ 生活単元学習

- ・生活上の目標を達成するために、行事等の活動を通して、生徒個々の課題解決に取り組む。
- ・自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに、自主性や適応性を高める。
- ・いろいろな事柄への興味関心を深め、生活経験を広げ生活上の望ましい習慣や態度を養う。

ウ 作業学習

- ・作業学習を通して、個々の生徒が豊かな社会生活を送れるように、体力の向上を図り、長時間継続して働く力を育む。
- ・勤労意欲の高揚と勤労生活への適応を図り、協調性を育て、基本的な技術を身につけ生活する力を高める。

—訪問教育における教育課程—【訪問教育：学齢児及び過年度卒】

★訪問教育は、障害が重度・重複していて通学困難な生徒に対して、教員が家庭、児童福祉施設、医療機関等を訪問して指導する。

★訪問教育は、生徒の実態や障害の特性に応じて各教科等の内容を検討し、個々に合わせた指

導が進められるようにする。

①教育方針

- ・生徒の実態に即して教育内容を精選し、指導の充実に努める。
- ・個別の教育支援計画を作成し、保護者等との連携を密にし、弾力的に運用する。

②重点目標

- ・健康の保持増進
- ・運動機能の向上を図る
- ・五感への刺激を通じた自発性の向上

③指導体制

- ・自立活動を主とした指導を行い、実態に応じて学習活動を行う。
- ・健康や個々の実態に十分留意し、状況に応じて柔軟にスクーリングを実施する。
- ・スクーリングは主に学部行事等や他の学習グループの授業への参加とする。

(4)交流及び共同学習の重点

県内外及び近隣の諸学校との交流活動や、地域社会の諸団体等との交流を通して、豊かな人間性を形成し、社会参加する態度を養う。

(5)生徒指導の重点

- ①基本的な生活習慣の形成と確立を図り、積極的、自主的な行動ができるようにする。
- ②集団の規律やマナーを守る態度を養う。
- ③社会人としてふさわしい生活習慣を身につける。
- ④自立し社会参加するために、地域の交通手段を活用する知識や態度・技能を身につける。
- ⑤生活指導を要する生徒について、個別かつ総合的な助言や指導を行ない、家庭や施設との連携を密にし、指導の充実に努める。

(6)キャリア教育の重点

生徒の個々の実態を把握した上で、就業体験や学級での指導をはじめ教育活動全体を通して、将来可能な限り自立した社会参加するのに必要な知識、技能、態度を身につけさせる。家庭や施設・関係機関及び地域社会と連携を取り、個々の生徒の希望や能力、適性に合った進路が選択できるように情報提供し、社会へ意欲的に参加する態度を養い、適応力を向上させる。

(7)生涯学習への意欲を高める指導の重点

多様な社会体験や、日常生活に根ざした課題解決学習を通して、主体性を持って物事に取り組みやり遂げる力、コミュニケーション能力や社会性を育む。

(8)安全教育の重点

- ①生命尊重の基本において、自他の生命を守る能力を育てる。
 - ②安全に関するきまりや、安全な行動の仕方を実践的に理解し、身につける。
 - ③危険の予測と場に応じた適切な判断力を育てる。
 - ④情緒の安定を図るとともに、自己統制力を育てる。
 - ⑤個人又は集団の健康について理解を図る。
 - ⑥健康の大切さを知らせ、健康の保持と増進に努める態度を育てる。
- ※性に関する指導は、生徒個々の特性や実態をふまえ、生理的側面、心理的側面、社会文化的側面から、指導を行い、自他の性について認識を深め、大切さを理解させる